

令和4年度 施策評価表 (令和3年度実績分)

【足立区子ども・子育て支援事業計画】

はじめに

平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に伴い、足立区においても第1期に引き続き、令和2年3月に「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。第1期の取り組みの成果や課題を踏まえ、「子育ての質の向上」と、支援が途切れないよう、「ライフステージ間のつなぎの強化」を重要な視点とし、各計画とも連携しながら、切れ目のない支援による子育て環境の充実を目指し取り組んでいます。

第2期計画でも、令和6年度までに足立区が取り組むべき施策を定めるとともに、各年度毎に実績を評価していきます。

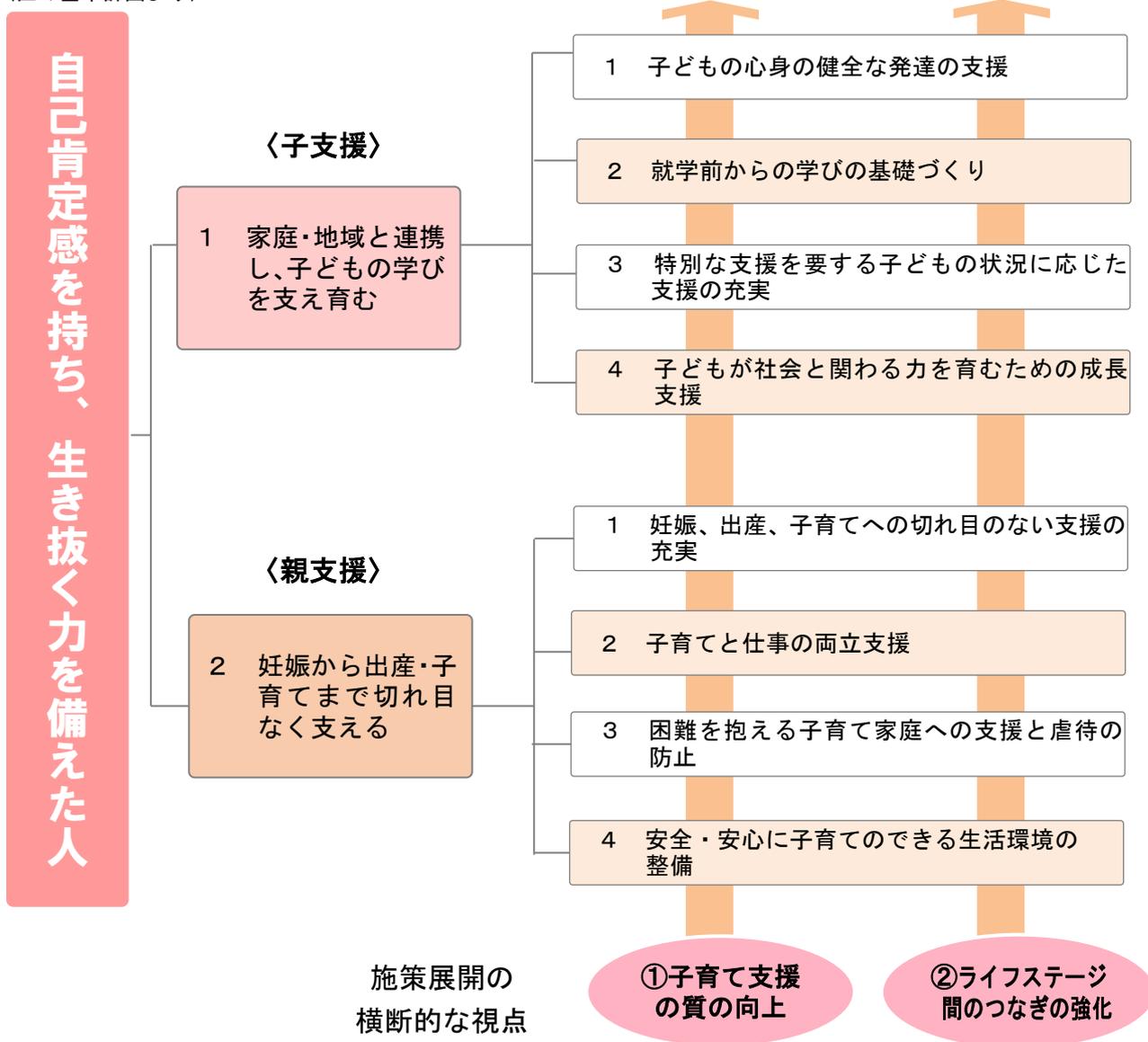
※計画の進捗状況の管理については、PDCA サイクルのもと対象事業の実施状況等について客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査・審議を行います。

【子ども・子育て支援事業計画の体系】

[柱立て]
(区の基本計画より)

[施策群]

[施策]



●各施策別の総合評価一覧（兼 目次）

【施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
1-1 子どもの心身の健全な発達の支援	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合	4	P 6
	1日3食、野菜（おかず・汁物など）を食べる幼児の割合		
	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合		
1-2 就学前からの学びの基礎づくり	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合	4	P 8
	基本的生活習慣が身についている小学校1年生の割合		
1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合	4	P 10
	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合		
1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合	4	P 12
	あだち放課後子ども教室利用者満足度		

【施策群2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実	子育ては楽しいと感じる割合	4	P 14
	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合		
2-2 子育てと仕事の両立支援	保育需要に対する待機児童率【低減目標】	4	P 16
	学童保育室の待機児童率【低減目標】 「男女が対等な立場で意思表示や活動をすることができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合		
2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止	児童虐待解決率	3	P 18
	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数		
2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値【子ども子育てに関係する事業】	5	P 20
	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合		

【評価の流れ】

1次評価（自己評価） P.4・5

各事業の担当課にて、①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」および②「成果指標」の評価を実施。

①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」

- 目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。
- 施策への貢献度、今後の方針、実績が目標値に対してどの程度どのように達成されたかを分析し、【総合評価】（課長評価）に記載。

②成果指標

- 担当課において目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。施策評価、2つの視点「子育て支援の質の向上」「ライフステージ間のつながりの強化」を踏まえた今後の方向性を記載。



2次評価（子ども家庭部による評価） P.4

① 重点プロジェクト事業の庁内ヒアリング（2次評価）に同席するなど、関連する事業についての情報を共有化。

② 各事業担当課による1次評価（自己評価）と上記①で共有化した情報などを踏まえ、子ども家庭部（子ども政策課）にて各事業の方向性等を以下の5段階で総合的に評価。

③ 評価点（5点満点） **5**（良い） ←————→ **1**（悪い）



3次評価（外部評価）

1次、2次評価の内容について、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会含む）にて委員から意見を聴取

施策【1-1】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			65	65	73			R6 目標
	実績値		-	68.3	72.2				75%
	達成率		105%	111%	0%				
指標 2	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数/アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			33	36	39			R6 目標
	実績値		28.7	28.8	28.2				45%
	達成率		87%	78%	0%				
指標 3	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			76	77	78			R6 目標
	実績値		75.5	77.1	77.2				80%
	達成率		101%	100%	0%				

1次評価
(自己評価)

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】目標値を上回ることができた。「カレンダーは基本的な生活習慣を身に付けるのに役立つ」と考えている保護者は約6割で、生活リズム定着は大切だと認識している保護者が一定数いることが要因と考える。

【指標2】実績値は微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、コロナ禍で健康教室等が中止となった影響が続いていると考える。

【指標3】実績値はほぼ横ばいである。「あだちはじめてえほん」事業に加え、区で作成した読み語り動画や、令和3年7月にオープンした「あだち電子図書館」によって、コロナ禍であっても気軽に絵本に触れられる機会を提供できたと考えられる。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

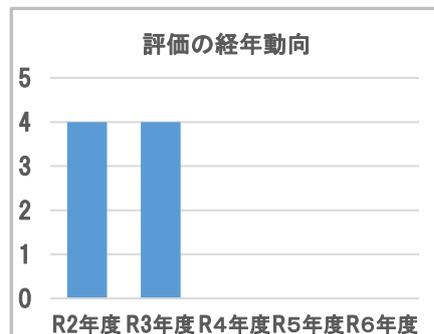
【指標1】カレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の各園での活用について、幼児期の活用方法や、就学前接続期の訓練としての活用方法などの好事例を提案することで、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣定着を図る。

【指標2】引き続き健康教室等での周知に努めていく。保育園児等を対象とした「ひとくちめはやさいから」のチャレンジシート活用を令和3年度から小学1年生まで拡大、幼児期から学童期に円滑につないでいく。

【指標3】「あだちはじめてえほん」事業や読み語りイベントなどのアウトリーチ事業を引き続き実施する。さらに、子育て世代をターゲットにしている「あだち電子図書館」の利用も促進し、子どもとその保護者も気軽に本に親しめる機会を増やしていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を食べる幼児の割合が横ばいとなっているが、4・5歳児向けに幼稚園や保育園で取り組む「ひとくちめはやさいから」チャレンジシートの活用を促進し、幼児期から学童期のつながりを意識し、定着を図ってほしい。 図書館のアウトリーチ事業では、商業施設のイベントは中止となったが、区有施設で実施するなど、事業を展開した。また、引換施設の一時休館が影響し、絵本を引き換える機会が減ったが、「あだち電子図書館」の利用を促進し、本に親しめる機会は一定程度確保できた。本に親しむ習慣は子どもの心と体の基盤になるため、工夫して積極的に取り組むことを期待する。
4	



2次評価
(子ども家庭部による評価)

施策【1-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義	R2	R3	R4	R5	R6
①早寝・早起き・朝ごはんの推進【青少年課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数(園数)	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園、 《【】内は対象園(全園)》	目標値 170 [223]	169 [221]	174 [218]		188 [201]
	実績値		158 [223]	162 [221]			
	達成率		93%	96%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	「早寝・早起き・朝ごはん」4週間版チェックブックは期間は短いものの、短期集中的に取り組めることやきっかけ作りには最適であった。今後はカレンダー希望調査と同タイミングで、SNSの発信や活用方法の提案を区HPへ掲載し、取り組む園を増やしていく。また、アンケートを通して、取り組まない理由を把握し、園に対するアプローチを検討していく。					
A	改善・変更	【総合評価】(課長評価)					
②食育の推進事業【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数(園数)	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園 《【】内は対象園(全園)》	目標値 113 [221]	168 [221]	170 [218]		150 [201]
	実績値		156 [221]	167 [221]			
	達成率		138%	99%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	未実施園に対し、栄養士が巡回訪問時に実施方法等具体的な支援をしたことにより、コロナ禍でも令和2年度より実施施設は増加し、概ね目標値を達成した。今後は、実施施設が少ない私立幼稚園・認定こども園へ啓発用のポスターや、ひと口目は野菜から食べることの必要性を伝えるリーフレットの配付、巡回訪問時の支援等働きかけを強化していく。					
A	現状維持	【総合評価】(課長評価)					
③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3~4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値 638 [12,000]	641 [11,920]	644 [11,840]		650 [11,700]
	実績値		206 [4,257]	237 [3,819]			
	達成率		32%	37%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3~4か月児健康診査は1月から3月にかけて中止とした。育児学級はすべて中止、健やか親子相談も一部実施としたため、目標値を大きく下回った。HPへの動画掲載や家庭への啓発用リーフレット配布などの工夫に加え、個別栄養相談を実施した。食育啓発の大切な機会である健康教室等で、今後も根気強く伝えていくことが重要と考えている。					
B	現状維持	【総合評価】(課長評価)					
④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数(人)	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数 《【】内は回数と対象者》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値 1600 ①[750] ②[850] ③[700]	1900 ①[750] ②[450]	1150 ①[550] ②[650] ③[600]		2000 ①[750] ②[650] ③[600]
	実績値		1595 ①[747] ②[848]	1742 ①[658] ②[367] ③[717]			
	達成率		100%	92%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	令和3年度は計3回ハガキを送付したが、送付間隔が短くなり、特に2回目は効果が感じられなかった。そのため、令和4年度は計2回の送付とし、特に反応がある事業終了1カ月前のハガキを受診勧奨に繋げるよう、より視覚的に訴える内容にしていく。対象者数が減ったため達成率は下がっているが、未受診者への受診勧奨手段としては有効である。集団健診対象(認可外保育施設)を増やすため、さらに対象児は減少するが、未受診者へのアプローチとして継続していく。					
A	現状維持	【総合評価】(課長評価)					
⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数(回)	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数《【】内は参加延べ人数》	目標値 10 [360]	20 [720]	30 [1,080]		60 [1,800]
	実績値		5 [576]	10 [620]			
	達成率		50%	50%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、西新井アリオなどの商業施設や、本をテーマにしたシェアハウス(ジェイヴェルデ大谷田)でのイベントの多くが中止となった。中でも、子育てサロンでの読み語りイベントや、生物園と連携した中央図書館での出張生物園の開催など、普段図書館を利用しない方に向けて事業を展開した。					
B	改善・変更	【総合評価】(課長評価)					
⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数(1歳6か月児)(人)	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換え人数 《【】内は全健診対象者》	目標値 3745 [5,350]	3745 [4,818]	3,800 [4,818]		3,900 [4,589]
	実績値		3120 [5,350]	2687 [4,818]			
	達成率		83%	72%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1~3月に引換施設(子育てサロン・児童館)が一時休館となり、絵本を引き換える機会が減ってしまったことが目標値を下回った1つの要因と考えられる。「あだちはじめてえほん」事業だけではなく、「あだち電子図書館」の利用促進など、コロナ禍を踏まえながら子どもとその保護者も気軽に本に親しめる機会を増やしていく。					
B	改善・変更	【総合評価】(課長評価)					

1次評価
(自己評価)

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 1

家庭・地域と連携し、
子どもの学びを支え育む



施策【1-1】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなどを通じて、就学前の健全な生活習慣の形成を推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			65	65	73			
	実績値		-	68.3	72.2				75%
達成率			105%	111%	0%				
指標 2	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数/アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			33	36	39			
	実績値		28.7	28.8	28.2				45%
達成率			87%	78%	0%				
指標 3	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			76	77	78			
	実績値		75.5	77.1	77.2				80%
達成率			101%	100%	0%				

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

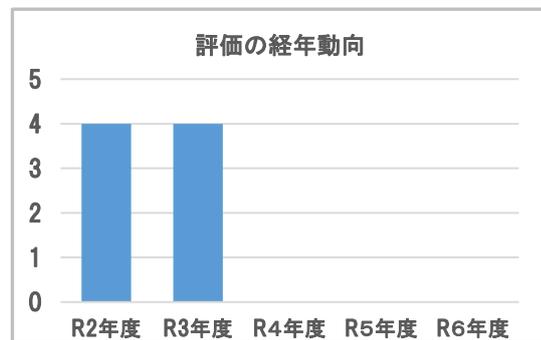
施策の達成状況とその要因分析

【指標1】目標値を上回ることができた。「カレンダーは基本的な生活習慣を身に付けるのに役立つ」と考えている保護者は約6割で、生活リズム定着は大切だと認識している保護者が一定数いることが要因と考える。
【指標2】実績値は微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、コロナ禍で健康教室等が中止となった影響が続いていると考える。
【指標3】実績値はほぼ横ばいである。「あだちはじめてえほん」事業に加え、区で作成した読み語り動画や、令和3年7月にオープンした「あだち電子図書館」によって、コロナ禍であっても気軽に絵本に触れられる機会を提供できたと考えられる。

【指標1】カレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の各園での活用について、幼児期の活用方法や、就学前接続期の訓練としての活用方法などの好事例を提案することで、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣定着を図る。
【指標2】引き続き健康教室等での周知に努めていく。保育園児等を対象とした「ひとくちめはやさいから」のチャレンジシート活用を令和3年度から小学1年生まで拡大、幼児期から学童期に円滑につないでいく。
【指標3】「あだちはじめてえほん」事業や読み語りイベントなどのアウトリーチ事業を引き続き実施する。さらに、子育て世代をターゲットにしている「あだち電子図書館」の利用も促進し、子どもとその保護者も気軽に本に親しめる機会を増やしていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を食べる幼児の割合が横ばいとなっているが、4・5歳児向けに幼稚園や保育園で取り組む「ひとくちめはやさいから」チャレンジシートの活用を促進し、幼児期から学童期のつながりを意識し、定着を図ってほしい。 図書館のアウトリーチ事業では、商業施設のイベントは中止となったが、区有施設で実施するなど、事業を展開した。また、引換施設の一時休館が影響し、絵本を引き換える機会が減ったが、「あだち電子図書館」の利用を促進し、本に親しめる機会は一定程度確保できた。本に親しむ習慣は子どもの心と体の基盤になるため、工夫して積極的に取り組むことを期待する。
4	



施策【1-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義	R2	R3	R4	R5	R6	
①早寝・早起き・朝ごはんの推進【青少年課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数 (園数)	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園、 《【】内は対象園(全園)》	目標値	170	169	174		188
				【223】	【221】	【218】		【201】
			実績値	158	162			
達成率	93%	96%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 「早寝・早起き・朝ごはん」4週間版チェックブックは期間は短いものの、短期集中的に取り組めることやきっかけ作りには最適であった。今後はカレンダー希望調査と同タイミングで、SNSの発信や活用方法の提案を区HPへ掲載し、取り組む園を増やしていく。また、アンケートを通して、取り組まない理由を把握し、園に対するアプローチを検討していく。						
A	改善・変更							
②食育の推進事業【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 (園数)	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園 《【】内は対象園(全園)》	目標値	113	168	170		150
				【221】	【221】	【218】		【201】
			実績値	156	167			
達成率	138%	99%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 未実施園に対し、栄養士が巡回訪問時に実施方法等具体的な支援をしたことにより、コロナ禍でも令和2年度より実施施設は増加し、概ね目標値を達成した。今後は、実施施設が少ない私立幼稚園・認定こども園へ啓発用のポスターや、ひと口目は野菜から食べることの必要性を伝えるリーフレットの配付、巡回訪問時の支援等働きかけを強化していく。						
A	現状維持							
③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3～4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数 (回)	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値	638	641	644		650
				【12,000】	【11,920】	【11,840】		【11,700】
			実績値	206	237			
達成率	32%	37%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3～4か月児健康診査は1月から3月にかけて中止とした。育児学級はすべて中止、健やか親子相談も一部実施としたため、目標値を大きく下回った。HPへの動画掲載や家庭への啓発用リーフレット配布などの工夫に加え、個別栄養相談を実施した。食育啓発の大切な機会である健康教室等で、今後も根気強く伝えていくことが重要と考えている。						
B	現状維持							
④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数(人)	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数 《【】内は回数と対象者》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値	1600	1900	1150		2,000
				①【750】	①【750】	①【550】		①【750】
				②【850】	②【450】	②【650】		②【650】
実績値	1595	1742						
達成率	100%	92%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 令和3年度は計3回ハガキを送付したが、送付間隔が短くなり、特に2回目は効果が感じられなかった。そのため、令和4年度は計2回の送付とし、特に反応がある事業終了1カ月前のハガキを受診勧奨に繋げるよう、より視覚に訴える内容にしていく。対象者数が減ったため達成率は下がっているが、未受診者への受診勧奨手段としては有効である。集団健診対象(認可外保育施設)を増やすため、さらに対象児は減少するが、未受診者へのアプローチとして継続していく。						
A	現状維持							
⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数(回)	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数《【】内は参加延べ人数》	目標値	10	20	30		60
				【360】	【720】	【1,080】		【1,800】
			実績値	5	10			
達成率	50%	50%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、西新井アリオなどの商業施設や、本をテーマにしたシェア配布(ジェイヴェルデ大谷田)でのイベントの多くが中止となった。今後も図書館に来ない子どもや来られない子どもに対して、商業施設や書店など民間施設と連携を図り、まちなかで本に触れられる事業を展開していく。						
B	改善・変更							
⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数(1歳6か月児)(人)	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【】内は全健診対象者》	目標値	3745	3745	3,800		3,900
				【5,350】	【4,818】	【4,818】		【4,589】
			実績値	3120	2687			
達成率	83%	72%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1～3月に引換施設(子育てサロン・児童館)が一時休館となり、絵本を引き換える機会が減ってしまったことが目標値を下回った1つの要因と考えられる。「あだちはじめてえほん」事業だけではなく、「あだち電子図書館」の利用促進など、コロナ禍を踏まえながら子どもとその保護者も気軽に本に親しめる機会を増やしていく。						
B	改善・変更							

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-2】

担当課 子ども施設指導・支援課

1 施策の概要

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-2 就学前からの学びの基礎づくり
施策の方向	乳幼児期の教育・保育内容の質の向上により、小学校教育へつながる子どもたちの学びの基礎づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	※1指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の※2巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合							
	定義	(算出式) $A \div B$ ※令和2年度から指標名の実地調査を巡回訪問等に変更 A:改善されていた保育施設等の総数 B:指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の総数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			100	100	100			目標値
	実績値		100	100	100				100%
	達成率			100%	100%	0%			
※1 指導検査 法令等に基づく指導 ※2 巡回訪問 指導検査で指摘等を受けた内容の確認や施設からの相談対応及び保育観察などの寄り添い支援									
指標 3	指標名	基本的な生活習慣が身についている小学校1年生の割合							
	定義	基本的な生活習慣(挨拶や返事・姿勢良く座る・静かに話を聞く)が身についている1年生の人数÷1年生の児童総数 ※転出入を含む新1年生が対象のため、各年度90%を目標としていきます。							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90	90			目標値
	実績値		90.6	88.4	86.9				90%
	達成率			98%	97%	0%			

3 担当課における施策評価

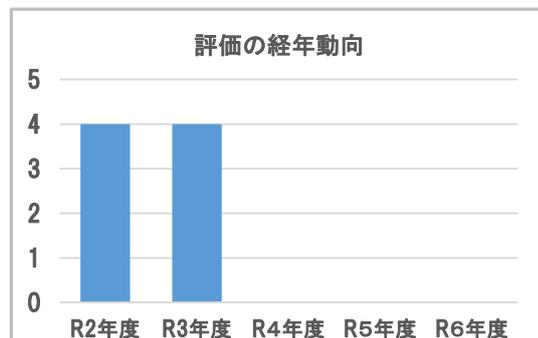
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析
 【指標1】令和2年度の指導検査実施106施設のうち48施設に対し「文書指摘」または「口頭指導」を発したが、令和3年度の巡回訪問において、全ての施設で改善されていることを確認し、目標を達成した。
 【指標2】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休園や園の活動の中止、縮小、制限や自粛に伴い、子どもたちの基本的な生活習慣の動機づけの機会が減少したことによる数値の低下と考える。

【指標1】保育施設の整備が進み、新規採用等により保育経験の浅い職員も多く、指導検査と巡回訪問による支援を拡大し、きめ細やかな支援を行っていく。さらに、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園や認証保育所等にも指導検査を拡大し、就学前教育・保育の質の維持・向上を図っていく。
 【指標2】新型コロナウイルス感染症の影響により子どもたちの活動機会および範囲が減少する中、小学校生活へのスムーズな移行のためには幼保小連携活動の継続は必要不可欠である。今後はオンライン等の活用で創意工夫を重ねて活動を継続していく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> 運営形態の多様化や保育経験の浅い職員が増えているため、教育・保育の質の維持に向けては、指導検査や巡回訪問等が必要不可欠である。コロナ禍で園訪問が制限されるなか、電話による支援は質の維持・向上につながっている。 コロナ禍で休園や活動が制限され、子どもたちの経験の機会が減っている。幼保小連携活動は、小学校生活へのスムーズな移行に重要な活動であるため、さらに工夫し継続していただきたい。乳幼児期は、小学校教育へつながる学びの基礎づくりに大事な時期である。新型コロナウイルス感染対策は基本としながらも、工夫しながら子どもたちの学びを育んでいってほしい。
4	



施策【1-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
7	①教育・保育の質の維持・向上事業 【子ども施設指導・支援課】	子ども・子育て支援法に基づく指導検査または巡回訪問等を実施した特定教育・保育施設等の割合(%)	(算出式) A÷B A: 当該年度に指導検査または実地調査のいずれかを実施した保育施設等の数(計331) B: 保育施設等の数(計332) 《【】内は保育施設等の数》	目標値	97	100	100		100
					【333】	【332】	【350】		【371】
				実績値	100	99.7			
				達成率	103%	100%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 指導検査または巡回訪問を331施設(私立認可92園、小規模27園、家庭的保育119名、認証34園、区立直営園31園、公設民営16園、私立幼稚園・こども園12園)に実施。私立幼稚園1園について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。コロナ禍で訪問が難しい時期もあったが架電による支援を延べ262件実施し、質の向上に努めた。							
A	現状維持								
8	②就学前教育の推進 【子ども施設運営課】	年齢別研修のうち、集合研修(運動)の参加人数	年齢別研修のうち、集合研修(運動)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭) 目標数=参加職員数(※研修定員数の7割程度を想定) 《【】内は定員数》	目標値	420	420	420		420
					【600】	【600】	【600】		【600】
				実績値	355	367			
				達成率	85%	87%	0%		0%
		幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合(%)	幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合 《【】内はブロック数》 ※令和3年度からブロック会議に交流活動含む	目標値	100	100	100		100
					【13】	【13】	【13】		【13】
				実績値	0	100			
				達成率	0%	100%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 研修は令和2年度同様各年齢別の担任研修とし周知に努めたが、参加者の小幅な増にしかならなかった。周知方法の再考が必要と考える。接続期カリキュラムの活用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のためブロック会議自体は開催しなかったが、交流活動では全てのブロックで活用した。令和4年度は、ブロック会議や交流活動にてより多くの施設で活用されるよう具体的な活用事例を示すなどして、積極的に活用を促し、小学校生活への円滑な接続を図っていく。							
A	改善・変更								
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)							

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-3】

1 施策の概要

担当課

支援管理課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実
施策の方向	発達障がいなど様々な悩みや課題を抱える就学前の子どもたちが、それぞれの特性に応じた支援が受けられるように、支援体制を充実します。

2 成果指標

指標1	指標名	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合							
	定義	支援管理課で相談を受けた児童の特性を捉え、保護者同意のもと、必要に応じ関係機関と連携ができた割合 (相談連携件数÷連携が必要な相談件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			97	98	98			R6 目標値
	実績値		90	97	98				98%
達成率			100%	100%	0%				
指標2	指標名	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合							
	定義	前年度に引き続き発達支援委員会で判定を受けた児童の内、保育現場での配慮を行ったことで、支援の程度が軽減若しくは現状維持したと判定された児童の割合 (支援軽減・維持人数÷継続支援児童数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			95	95	96			R6 目標値
	実績値		89	95	96				95%
達成率			100%	101%	0%				
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値								R6 目標値
	実績値		—						
達成率									

3 担当課における施策評価

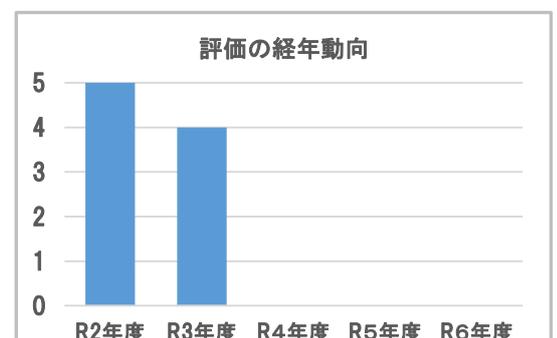
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

施策の達成状況とその要因分析
【指標1】来所相談後、不安の強い保護者に対しては継続的に電話や手紙などで連絡を行い、不安軽減に努めたことで、適切な支援機関につなげることができた。
【指標2】コロナ禍ではあったが、保育者と専門職(心理士・作業療法士)と連携し、児童の発達特性に応じた対応を行ったため、問題行動の軽減につながった。また、心理士が面談の場を設け、園生活での姿を伝えることで、保護者が児童の特性を理解する機会となり、必要に応じ就学先へ情報を伝えることができた。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性
【指標1・2】発達特性のある児童に対し、幼稚園・保育所等の就学前機関でのかかわり方を就学先へつなげられるよう、必要な児童全てに適切な個別支援計画(園生活支援シート)を作成する。既に区立園では全員に実施しており、令和4年度は巡回訪問時に専門職による目標設定や支援方法等の助言を行い、就学先へスムーズにつなげられるよう、支援を行っていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価	・継続的に電話や手紙などで連絡を行ったことで、適切に関係機関との連携が図られている。
R3年度	・保育者と専門職の連携で児童の発達特性に応じた対応により、発達支援児における行動上の課題軽減や維持ができています。
4	・就学先へのつなぎとしては、心理士と保護者の面談で、児童の特性を伝えることで、保護者の児童に対する理解につながり、就学先に情報を伝えることができた。
	・施設が適切に個別支援計画を作成することで、さらにスムーズな就学先へのつなぎとなることを期待する。引き続き児童の発達特性に応じた支援を実施してもらいたい。



施策【1-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
9	①発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み【保健予防課】	3歳児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における3歳児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	125	125	125		125
					[5,000]	[4,870]	[4,730]		[4,460]
				実績値	114	101			
					[4,684]	[3,925]			
				達成率	91%	81%	0%		0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、8月から9月、1月から3月にかけて3歳児健康診査を延期としたため、実施回数・受診者数は減少した。対象者には、電話による相談などフォローを行っている。3歳児健康診査は例年、受診率も高く、発達に課題のある子どもを早期・確実に発見し、つないでいく重要な役割を果たしている。						
A		現状維持							
10	②乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導【保健予防課】	乳幼児経過観察健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児経過観察健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	78	78	79		80
					[776]	[782]	[788]		[800]
				実績値	65	63			
					[435]	[390]			
				達成率	83%	81%	0%		0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、乳幼児健診を中止・延期したため、実施回数及び受診者数は減少した。こども支援センターげんきと連携し、心身の発育・発達などに不安のある乳幼児の相談事業にげんきの心理士派遣を行っている。心理相談や療育相談の結果から、継続的に関わることで保護者の受け止めや理解を促し、適切な支援につないでいる。						
A		現状維持							
11	③発達支援児の総合的な支援【支援管理課】	相談児童数(人)	こども支援センターげんきへの来所・電話相談、保健センターでの相談、就学前施設での相談(巡回指導、発達支援相談、4歳児対象の気づきのしくみの相談)で受理した児童の延べ人数	目標値	4,320	4,300	4,300		4,300
					4255	4273			
				実績値					
				達成率	98%	99%	0%		0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価) コロナ禍で保護者と子どもと一緒に過ごす時間が増えたことで、発達特性に気づき相談につながる件数が多かった。気づきの仕組みでは新型コロナウイルス感染症予防の観点から、集団で行う座談会を中止し、保護者と心理士との個人面談を多く実施したことで、子育て不安に対し、具体的な助言ができ、来所相談につなげることができた。						
A		現状維持							
12	④教育・保育施設従事職員のスキルアップ研修【支援管理課】	実施回数(回)	講座実施回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	10	12	12		10
					[800]	[1,100]	[1,100]		[900]
				実績値	10	12			
					[1,066]	[888]			
				達成率	100%	100%	0%		0%
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価) 新型コロナ感染症予防の徹底を図り、発達障がい児に対する理解と具体的な対応を学ぶ研修を実施した。コロナ対策の観点から法人や本社の意向による参加辞退のため、令和2年度から参加者数及び受講終了者が減ったものの、全講座終了した31名を東京都認定キャリアアップ研修受講者として報告をした。今後、フォローアップ研修を実施し、スキルアップを図っていく。						
A		現状維持							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度		今後の方針	【総合評価】(課長評価)						

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-4】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援
施策の方向	家庭や地域と連携しながら、様々な学び、体験の場を広げ、小・中学生が自らの可能性を見つけ、伸ばしていけるよう支援します。

2 成果指標

指標 1	指標名	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合							
	定義	体験教室に参加した子どもや来館した子どもへのアンケートで「今回の体験をとおして、これからも新しいことを知ったり、チャレンジしたいと思った」と回答した子どもの割合 青少年課体験教室の参加割合とギャラクシティ体験活動の参加割合の平均							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	実績値		-	88	82				90%
指標 2	指標名	あだち放課後子ども教室利用者満足度							
	定義	参加児童に対するアンケート調査で、放課後子ども教室に参加することが「楽しい」「少し楽しい」と答えた児童の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	実績値		99	99	99				99%
指標 3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	実績値		-						

3 担当課における施策評価

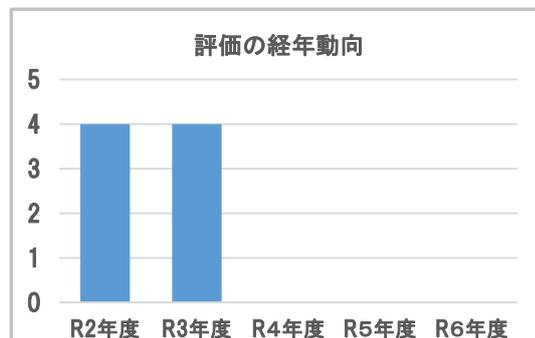
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析
 【指標1-青少年課体験教室】コロナ禍のオンライン事業でも、子どもたちが興味を持つよう、大学生との交流コーナーを設けるなど、大学連携の特色を活かしたプログラムを工夫したことが実績につながった。
 【指標1-ギャラクシティ体験活動】コロナ禍で身体を動かせる機会が減っている中で、バススポーツ体験を実施するなど、ニーズを捉えた事業展開により、多くの子どもに意欲を伸ばす体験を提供できた。
 【指標2】コロナ禍においても、引き続き満足度が高い結果となった。休止せずに学年分けや遊び方で3密を回避するなど、実施内容を工夫しながら開催した成果である。児童からは、体を動かして遊べた(59.7%)、家や学校でやったことのない遊びができた(53.2%)などの理由があがっている。

【指標1-青少年課体験教室】学校教育とは異なる、地域社会のなかで子どもたちの各ライフステージをつなぐ事業を、今後も内容を充実させ実施していく。
 【指標1-ギャラクシティ体験活動】子どもたちが文化芸術に関心を持ち、自己肯定感を高められる事業を実施していくとともに、小学生から高校生までライフステージの変化に合わせて、ギャラクシティで学び、体験し続けられる場を提供していく。
 【指標2】児童の健やかな成長と学びのため、地域の方々の協力を得ながら放課後の安全・安心な居場所を提供していく。また、体験・交流の機会を通じて、児童が高い自己肯定感を持てるようにさらなる質の向上を図っていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体験教室や活動は、ライフステージの変化に合わせて、大学の専門性を活かしたり、文化芸術に関心を持つようなプログラムを対面やオンラインを併用して、引き続き実施してほしい。 放課後子ども教室は、コロナ禍でも学年分けや遊び方を工夫し、運営方法に柔軟性を持たせながら、今後も子どもの体験機会を提供してもらいたい。 コロナ禍でジュニアリーダー育成研修が減っている。育成研修は、野外活動を通じて、同年代の子どもたちや地域の方々と関わることで、地域や社会で活躍できる人材を育てていく大事な取り組みである。コロナ対策を講じて、1人でも多くの子どもが社会と関わる力を育めるような環境を提供してもらいたい。
4	



施策【1-4】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

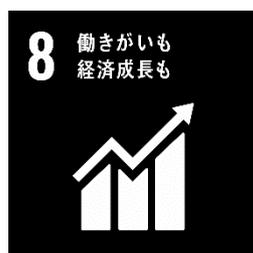
事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
13	①体験活動(大学連携事業)の推進【青少年課】	大学連携によるプログラムの提供回数(回)	青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供回数 《【 】内は参加した子どもの延べ人数》	目標値	26	27	27		33
				実績値	11	23			
				達成率	42%	85%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	コロナ禍において予定していた対面事業が出来なくなったため、各大学と協議し、オンライン事業を企画した。オンラインにおいても、子どもと大学生との交流を図るために、子どもからの様々な質問に大学生が答える等、大学連携の特色を活かしたプログラムを工夫して実施した。						
A	現状維持								
14	②ギャラクシティでの多様な体験活動の提供【地域文化課】	イベント・ワークショップ実施回数(回)	イベントや日々のワークショップ実施回数 (目標値)基本協定で締結しているワークショップの最低実施回数 《①【 】内は、上記のうち地元企業やボランティアとの協働による企画数》 《②【 】内は延べ総参加者数》	目標値	2,200	1,600	1,600		3,000
				実績値	734	1653			
				達成率	33%	103%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止することも多かった。中でも感染対策に取り組みながら、可能な限り事業を実施してきた。オリンピック・パラリンピックに合わせてボッチャやゴールボールなどのパラスポーツ体験を実施したり、歌舞伎俳優から直接歌舞伎を学ぶ体験を行うなど、多様な体験を子どもたちに提供した。						
A	現状維持								
15	③あだち放課後子ども教室【学校支援課】	学校・実行委員会との話し合いの回数(回)	実施内容の拡充(対象学年拡大・体験プログラム実施等)に向けた話し合いの回数	目標値	240	240	240		240
				実績値	151	265			
				達成率	63%	110%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、自主的な休止や感染対策などの実施方法を話し合う機会が通常より多くあり、目標を達成した。これからも実行委員会の意思を尊重しながら、コロナ禍においてできる限りの支援を行っていく。						
A	現状維持								
16	④ジュニアリーダーの育成【青少年課】	子ども会のリーダーを育成する研修会の開催回数(回)	小学4年～6年生を対象としたジュニアリーダー研修会の開催回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	66	66	48		69
				実績値	14	20			
				達成率	21%	30%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症対策として、会場数を22会場から10会場に減らし定員を設けたが、コロナ拡大の影響で5会場での実施となり参加者数が激減した。「子どもは地域で育てる」ことへの影響を鑑み、令和4年度は、会場を地域学習センターから子どもたちが参加しやすい学校に戻すとともに16会場に増やし研修会を実施する。						
B	現状維持								
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)							

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 2

妊娠から出産・子育てまで

切れ目なく支える



施策【2-1】

1 施策の概要

担当課 子ども施設入園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
施策の方向	・子育て支援を充実し、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援を行います。 ・子育てサービスを適切・円滑に利用できるように、親子の居場所や交流の場などの情報提供や、悩みの相談環境の充実を図ります。

2 成果指標

指標 1	指標名	子育ては楽しいと感じる割合							
	定義	各保健センター等での3～4か月児健康診査時に行うアンケートで、「子育ては楽しい」と答えた親の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			75	75	75			目標値
	実績値		71.6	74.6	73.5				75%
達成率			99%	98%	0%				
指標 2	指標名	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合							
	定義	保育コンシェルジュへ相談した方に対するアンケートで、相談が役にたったと答えた方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			97	97	97			目標値
	実績値		—	98	100				97%
達成率			101%	103%	0%				
指標 3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		—						
達成率									

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】実績値はほぼ横ばいで推移しているが、令和2年度からは微減となった。長引くコロナ禍において母親の身体的・精神的負担が増大していることも要因のひとつと考えられる。訪問や電話相談、乳幼児健診などで不安やストレスを抱える母親へのきめ細やかな支援を強化している。

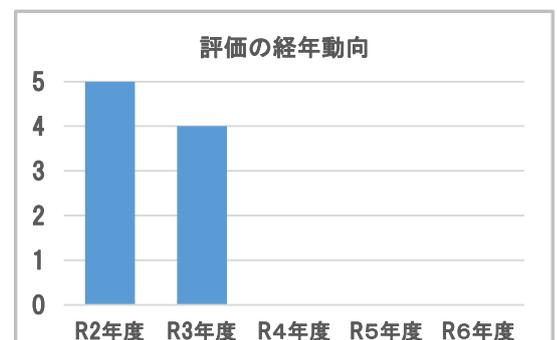
【指標2】区ホームページの内容を充実させるとともに、相談時にはタブレット端末を使って、最新の保育情報を視覚的に分かりやすく伝えてきた。また、保育サービス以外の育児や発育の悩みについて傾聴してきたことが、利用者からの高い評価につながった。

【指標1】ハイリスク妊産婦への寄り添い支援を継続強化しつつ、全妊産婦支援を「スマイルママ面接」「ファーストバースデーサポート」で実施する。令和4年度開始の「宿泊型産後ケア」において、より手厚い支援を提供していく。支援が必要な方への早期対応を適切に行い、必要に応じ他所管や関係機関につないでいく。

【指標2】初めての保活に取り組む保護者を対象にしたオンライン説明会を定期的に関催する。オンライン説明会では、保育制度の説明とあわせて保育コンシェルジュ事業の紹介を行い、個別相談につなぐことで、各家庭の状況に適したきめ細かな相談を実施していく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で電話による相談を併用しながら、妊産婦支援を行っている。さらに「スマイルママ面接」や「ファーストバースデーサポート」などは、面接やアンケートを実施し、家庭状況を把握し妊産婦の不安を和らげる手厚い支援は、評価できる。しかし、妊娠から育児支援等を学ぶファミリー学級がコロナ禍で開催数が減っている。平日1日制を実施することだが、学ぶ場でもあり、意見交換や相談等を行う場でもあるため今後はコロナ対策を講じながら、交流の場を増やしてもらいたい。 ・保育コンシェルジュは、4月からオンライン相談を実施し、相談の機会を増やした。保育等施設の相談のみならず、遊び場を情報提供したり育児相談を受けたり、子の発達に関する相談から関係機関へつなぐなど、今後もきめ細かな対応を期待する。
4	



施策【2-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
17	①妊婦健康診査【保健予防課】 妊婦健康診査受診回数(回)	母子健康手帳交付時に配付する14回分の受診票の使用回数(里帰り等による助成の回数を含む)	目標値	61,120	61,290	61,460		61,800
			実績値	53,219	51,935			
			達成率	87%	85%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	令和2年度から微減となったが、コロナ禍においても目標値に対し高めの達成率となった。平均受診回数も12回と前年度の回数を維持している。妊婦届出時の妊婦全数面接や妊婦訪問時に保健師等が必要健診回数をきちんと受診することの大切さを伝えてきた成果と考える。妊婦健康診査は、胎児の発育状態の確認や母体の異常を早期発見するために大変重要なものである。					
A	現状維持							
18	②ファミリー学級【保健予防課】 ファミリー学級学級数(数)	ファミリー学級の年間開催学級数(平日、土曜日、日曜日)《【】内は参加者数(実人数)》	目標値	108	108	108		110
			実績値	56	44			
			達成率	52%	41%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、保健センター等の平日3日制は年度当初から中止、土曜1日制は全54回のうち17回、日曜1日制は全9回のうち2回を中止とした。中止回の方の希望者には、パンフレット等を送付した。パートナーと一緒に体験し気持ちを共有できる1日制の人気は高いため、平日1日制を実施する。引き続きニーズの把握に努め、周囲の理解やサポートにつなげていく。					
B	現状維持							
19	③妊産婦家庭訪問事業【保健予防課】 妊娠期から生後3か月までの支援対象者への訪問件数(件) ※要支援者対象	妊婦届で把握した特に支援が必要な妊産婦に訪問を実施した件数《【】内は対象訪問件数(特に支援が必要な妊産婦×訪問4回)》	目標値	1,800	1,800	1,800		1,800
			実績値	1,658	1,513			
			達成率	92%	84%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	妊婦届及びアンケートから支援が必要な妊婦を把握し、保健師や助産師が訪問や面接・電話などできめ細やかに妊産婦への指導や相談・助言を行っている。令和3年度の特に支援が必要な妊産婦は399人で、3.8回の訪問を行った。ハイリスク妊産婦の支援を強化しつつ、妊婦全数面接等により全妊産婦の状況を把握し、長引くコロナ禍での不安等を軽減できるよう支援していく。					
A	現状維持							
20	④こんにちは赤ちゃん訪問事業【保健予防課】 こんにちは赤ちゃん訪問事業訪問件数(件) ※全家庭対象	当該年度に出生した訪問希望者に対するこんにちは赤ちゃん訪問で保健師・助産師が訪問指導した件数《【】内は希望件数》	目標値	4,260	4,130	4,080		3,900
			実績値	3,558	3,626			
			達成率	84%	88%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	訪問希望者に対する訪問率は例年高い割合を維持している。緊急事態宣言下においては、訪問を希望されない方には、電話による相談を実施しフォローした。乳児の発育状況と生活状況の把握に加え、コミュニケーションツールとしてエンジラ産後うつ病質問票(EPDS)を活用し、産後うつ等になりやすい時期に相談にのることで母親の育児不安解消と虐待の未然防止に努めた。					
A	現状維持							
21	⑤乳幼児健康診査【保健予防課】 乳幼児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査の実施回数《【】内は受診者数》	目標値	410	410	410		410
			実績値	312	328			
			達成率	76%	80%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、8月から9月、1月から3月に乳幼児健康診査を中止・延期とし、対象者には電話による相談などフォローを行った。3~4か月児健診の対象者には、医療機関での受診を案内し、償還払いを行っている。乳幼児の発育・発達状況確認、疾病や異常の早期発見、母親の育児不安の軽減など、総合的な健診の場として重要な役割を果たした。					
A	現状維持							
22	⑥産前・産後家事支援事業【こども家庭支援課】 年間延べ訪問件数(件)	産前・産後家事支援事業の年間延べ訪問件数	目標値	450	520	1,000		500
			実績値	520	1,084			
			達成率	116%	208%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	令和3年度に利用期間を産後1か月から産後3か月に延長したことにより、利用が増加している。今後、利用期間の拡大と、委託介護事業者との需給バランスの均衡を図っていく必要があるため、引き続き事業者と協議して進めていく。					
A	現状維持							
23	⑦子育てサロン【住区推進課】 イベント回数(回)	年間イベント(絵本読み聞かせ・親子ふれあい遊び・ベビーマッサージ等)実施回数《【】内、①は参加者総数、②は①の内、男性参加者数》	目標値	2,620	2,640	2,660		2,700
			実績値	48,282	49,631	51,000		①【53,860】
			達成率	43%	80%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	交流や情報収集を求めて利用者は少しずつ増えてきている。コロナ禍において自粛期間が長引いているため、イベントを経験させたい保護者が多くなっている。また、0歳、1歳児の利用が多くなっており、生後4か月までの乳児対象の「あかちゃんず」を試行でスタートさせた。今後、拠点型子育てサロンでの実施に拡大していく。					
A	現状維持							
24	⑧保育コンシェルジュ【子ども施設入園課】 保育コンシェルジュ相談延べ人数(人)	保育コンシェルジュ相談延べ人数《【】は保育サービス以外の相談件数、令和3年2月から開始》	目標値	3,150	2,600	3,000		3,991
			実績値	2,343	2,793			
			達成率	74%	107%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	コロナ禍において区民の方が安心して利用していただけるよう令和3年4月からオンライン相談を開始し、427人に対応したことで、利用者数は前年度と比べて450人増加した。また、子育てサロンへの出張を継続し、対面相談の機会の確保に努めるとともに、保育サービス以外の相談を36件対応し、利用者のニーズに合わせたきめ細やかな相談に努めた。					
A	現状維持							

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-2】

1 施策の概要

担当課

私立保育園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-2 子育てと仕事の両立支援
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方を背景とした保護者の保育ニーズに応じた教育・保育サービスを確保します。 多様な働き方を可能とするため、パートナーの積極的な家事・育児参加の意識を醸成します。

2 成果指標

指標1	指標名	保育需要に対する待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷保育需要数(各保育施設等の利用児童数+待機児童数) ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	0	0			目標値
	実績値		0.89	0	0.007				0%
	達成率		100%	99%					
指標2	指標名	学童保育室の待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷入室申請者数 ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	5.8	3			目標値
	実績値		5.1	6.1	3.7				0%
	達成率		0%	157%					
指標3	指標名	「男女が対等な立場で意思表示や活動をすることができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合							
	定義	「足立区政に関する世論調査」							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			40	40	40			目標値
	実績値		31	31	34				50%
	達成率			78%	85%				

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】
 ・子育て支援の質の向上
 ・ライフステージ間のつなぎの強化
 子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】必要な保育定員数をほぼ確保したが、地域内における本人の希望と空き施設の不一致等により、待機児童が1名発生したため、保育所待機児童率は、0.007%となった。

【指標2】民設学童保育室を新たに3室開設し、122人の定員増を図り、前年度比で2.4ポイント減少した。これは、新型コロナウイルス感染拡大により、受入可能数が入室申請者を上回ったことが要因と考えられる。

【指標3】世論調査では、30%代で推移しており、目標には届いていない。社会における男女の意識の差が、令和3年度に実施した意識調査からも明らかになっており、区民意識の低迷にも影響していると考えられる。

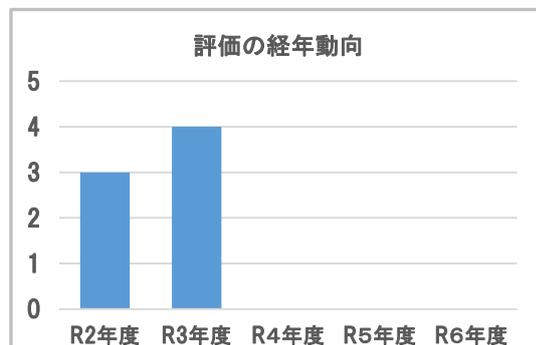
【指標1】地域ごとの保育ニーズを詳細に分析し、人口推計、妊娠届出時の意向調査結果等を踏まえ、足立区待機児童解消アクション・プランの改定を行い、保育需要数を見直していく。また、築年数の経過した施設では、保育定員の見直しを含めた施設更新により保育環境を向上させながら、必要な保育定員を確保・維持していく。

【指標2】整備計画に基づき、需要を予測し、小学校内への設置を基本に民設学童の誘致による整備を行う。また、児童館特例利用などの情報提供により、各家庭の事情に合わせた放課後の居場所を提供する。

【指標3】子どもの成長に応じた、男性の家事・育児参加に関する講座を展開する等、男女が共に参加できるような意識づけを行っていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価	<ul style="list-style-type: none"> 保育需要に対する待機児童率はほぼ目標を達成している。引き続き必要な保育定員を確保・維持してもらいたい。 学童保育室は、受入可能数が申請数を上回っているものの、待機児童が多く発生している区域や定員割れの区域が見られる。要因を分析し、需要と供給のバランスを解消し、待機児童ゼロの達成を期待する。 男女共同参画に関する区民意識調査では、パートナーとの役割分担状況の満足度が全ての年代の女性で低くなっている。男性に対する啓発活動や子育てを応援する取り組みをさらに推し進め、意識を醸成してほしい。
R3年度	
4	



施策【2-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
25	①保育施設等の整備 【私立保育園課】	保育施設整備数(累計件)	令和2年～6年度における、認可保育所、認証保育所、小規模保育の新規整備及び定員見直しを行う改修等の実施件数 ※「足立区待機児童解消アクション・プラン(令和元年8月改定版)」に基づく令和2年度の整備予定件数	目標値	1	3	3		5
				実績値	1	3			
				達成率	100%	100%	0%		0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	令和2年4月1日の待機児ゼロを目指したアクションプランに基づく新規施設整備は完了しており、今後は、老朽化等による建て替え事業がメインとなる。事業実施にあたっては、工期等のスケジュール管理を徹底し、必要な整備を事業者と協議しながら進捗していく。					
A	現状維持								
26	②保育士確保・定着対策 【私立保育園課】	就職相談会の実施回数(回)	就職相談会等の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	4 【110】	2 【100】	2 【100】		8 【310】
				実績値	1 【51】	2 【63】			
				達成率	25%	100%	0%		0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	保育士確保・定着は、安定した保育所運営には欠かすことのできない施策である。確保重視から定着重視へシフトしながら、引き続き保育士確保・定着に努めていく。令和3年度は、コロナ感染状況からセミナーをYouTubeで、就職相談会も規模を縮小して実施。令和4年度もコロナの感染状況から判断し開催を工夫していく。					
A	現状維持								
27	③学童保育室の運営 【住区推進課】	学童保育室受入可能数累計(人)	区直営、運営委託(指定管理、住区センター)、民設運営(学童クラブ補助対象分)の受入可能数累計 ※令和3年度より受入可能数増分から累計へ変更	目標値	90	210	340		430
				実績値	120	242			
				達成率	133%	115%	0%		0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	「足立区学童保育室整備計画」に基づき、令和3年度に民設学童保育室3室を新たに開設し、122人の受入可能数増となり、累計で242人の増となった。今後も引き続き「整備計画」に基づき、最新の申請状況等の実績を踏まえたうえで、待機児童が多い地区へ学童保育室の整備を進めていく。					
A	現状維持								
28	④ワーク・ライフ・バランスの推進 【多様性社会推進課】	WLBを推進するため区内企業へ働きかけした件数(件)	架電・DM・訪問など働きかけした件数※10人以上、300人未満の区内企業数=1,600社 ※令和2年度目標値450は働きかけをして興味を示す見込数	目標値	450	2,000	2,000		2,000
				実績値	1889	1864			
				達成率	420%	93%	0%		0%
		男性向け講座・イベントの実施回数(回)	男性向け講座・イベントの実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	10 【250】	10 【250】	10 【300】		11 【500】
				実績値	3 【30】	8 【79】			
				達成率	30%	80%	0%		0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルスの感染対策を講じて講座を実施した。退職前後の男性を対象とした講座や男性の子育て応援講座を実施するなどして、男性の積極的な家事・育児参加を促した。その結果、男女で役割を分かち合っている割合が増している。今後も、引き続き機会の場の提供と支援を行っていく。						
A	現状維持								
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)						
				目標値					
				実績値					
				達成率					
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)						

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-3】

1 施策の概要

担当課 **こども家庭支援課**

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
施策の方向	・児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等を図るため、地域におけるきめ細やかな体制の充実を進めます。 ・困難を抱える子育て家庭の悩みや相談に応じ、経済的支援をはじめ、親と子どもに寄り添った様々な支援を行います。

2 成果指標

指標 1	指標名	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数							
	定義	ひとり親家庭を対象とする高等職業訓練促進給付金事業を活用後、就労(正規雇用)した方の数							
	単位	人	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			15	17	10			目標値
	実績値		14	15	5				25人
	達成率		100%	29%	0%				
指標 2	指標名	児童虐待解決率							
	定義	虐待解決数(児童相談所への送致や訪問指導により虐待を起こす要因が解消された数)÷虐待件数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			80	80	80			目標値
	実績値		73	66	65				80%
	達成率		83%	81%	0%				
指標 3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値								
	達成率								

3 担当課における施策評価

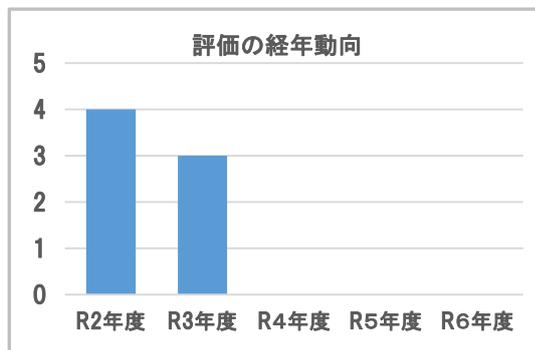
【2つの横断的な視点】
・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析
【指標1】正規雇用率が高く、希望の多かった看護師や介護職の資格取得者がコロナ禍において減少し、高等職業訓練促進給付金事業活用者数に影響している。また、在宅ワークを希望するなどコロナ禍における働き方の変化も、正規雇用した方の数の減少の一因ともなっている。
【指標2】児童虐待解決率は前年度と同程度で推移している。より案件が複雑かつ多様化しており、継続して支援を必要とする家庭が増加していることから、虐待解決に至るまで時間を要することが多くなっていることが影響している。

【指標1】コロナ禍における働き方の変化も踏まえ、限定的に高等職業訓練促進給付金事業等の利用対象者要件や対象資格等を拡大し、就労支援を強化していく。
【指標2】各事業の複雑かつ多様化に対応するため、関係機関と連携し家庭を保護者ごと支え、子どもが家庭で安心・安全に暮らせるように、児童虐待の予防、早期発見、再発防止に向けた取り組みを継続していく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で変化した働き方やニーズに合った資格取得等を後押しし、支援していく必要がある。正規雇用は、ひとり親の経済的自立につながるため、高等職業訓練促進給付金の対象資格要件等の限定的拡大や、就労支援事業の強化により、正規雇用者が増えることを期待する。 ・児童虐待については、各事業が複雑かつ多様化し、継続的支援が必要な家庭が増加しているため、解決に向けてはこれまで以上に関係機関との連携が重要となる。時間を要するかもしれないが、適切な関係機関へのつなぎと、指導・助言等や子どもの養育に関する支援を行うことで、解決につながっていくと思われる。引き続き支援を続けるとともに、虐待予防の観点から子育ての悩みや対処法等のメール配信や講座など、虐待発生を未然に防ぐ取り組みは今後も実施してもらいたい。
3	



施策【2-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
29	①きかせて子育て訪問事業 【こども家庭支援課】 支援回数(回)	きかせてサポーターが利用者宅で支援を行った年間延べ支援回数 《【 】内は利用者数》	目標値	102	120	300		102
				【30】	【30】	【150】		【30】
			実績値	145	283			
				【42】	【148】			
達成率	142%	236%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 公的機関との接触の少ない家庭に対してアプローチをしていくため、令和3年度より本格的に該当家庭への戸別訪問を開始し、子育てに役立つ情報を提供したことで、大幅な支援回数増加に繋がった。今後の事業のあり方について、引き続き協議を進めていく。						
A	現状維持							
30	②メール配信事業 「新米ママパパの子育てブログ」 【こども家庭支援課】 配信記事数(本)	メール配信する配信記事(ブログ調記事)の種類(数) 《【 】内は登録者数》	目標値	90	90	90		90
				【12,000】	【13,000】	【14,000】		【15,000】
			実績値	94	94			
				【12,445】	【13,543】			
達成率	104%	104%	0		0			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) コロナ禍等による育児ストレスを抱えこまないよう、引き続き定期配信とは別に、随時配信を実施した。引き続き増加しているブログ登録者へアンケートを実施し、それらを踏まえ内容の充実を図っていく。						
A	現状維持							
31	③児童扶養手当 【親子支援課】 児童扶養手当認定件数(件)	児童扶養手当認定請求に対する認定件数	目標値	854	845	836		820
			実績値	872	750			
			達成率	102%	89%	0%		0%
			施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 足立区における0～18歳の人口減少に伴い、児童扶養手当の認定件数も減少している。令和3年度においては、対前年度比で122件の減となり、結果として目標値を下回る実績となった。			
A	現状維持							
32	④ひとり親家庭応援メールの配信 【親子支援課】 メール配信の情報件数(件)	豆の木メールで配信した情報の件数 《【 】内は登録世帯数》	目標値	220	240	240		300
				【2,800】	【3,200】	【3,500】		【3,500】
			実績値	225	207			
				【3,094】	【3,674】			
達成率	102%	86%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、親子向けのイベントや就労に関する講座などの情報が減少したが、各種給付金のお知らせなど、社会情勢に応じた、関心の高い情報を発信し貢献度は高かった。						
A	現状維持							
33	⑤就労のための資格取得支援 【親子支援課】 ひとり親家庭向け就労支援事業を活用した人数(人)	ひとり親家庭を対象にした就労支援給付金補助をはじめ、就労セミナー・講座等区が行う就労支援事業を活用した人数	目標値	200	225	160		200
			実績値	150	152			
			達成率	75%	68%	0%		0%
			施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、セミナー・講座等が中止や延期から参加者が減ったり、働き方への希望の変化から資格取得希望者が減るなど実績値は目標を下回った。時限的な事業拡大の周知や人気のあるPC講座はコロナ禍においても開催できるよう工夫するなど、就労支援によるひとり親の自立に力を入れていく。			
B	現状維持							
34	⑥(区民向け)児童虐待予防講座の実施 【こども家庭支援課】 講座の開催回数(回)	児童虐待防止啓発事業(子育て交流講座(NP講座)、イライラしない子育て講座、講演会、オレンジリボンキャンペーン等)の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	12	12	12		13
				【120】	【120】	【120】		【164】
			実績値	7	7			
				【71】	【72】			
達成率	58%	58%	0%		0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置により、中止を余儀なくされることも多かったものの、日数短縮による開催など工夫をし、実施回数等は前年とほぼ同数で推移した。今後も対面開催の強み(ロールプレイング等)を踏まえたうえで、有効的な実施方法を研究していく。						
B	現状維持							
35	⑦児童虐待対応 【こども家庭支援課】 児童虐待受理件数(件)	こども家庭支援課における児童虐待に関する受理件数	目標値	900	1,100	1,100		1,345
			実績値	1,053	1,028			
			達成率	117%	93%	0%		0%
			施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価) 虐待受理件数は、平成21年度以降初めて対前年度比で減少傾向となった。安否確認を要する健診未受診の乳幼児が減少したこと等が影響している。コロナ禍における制限のなかで、要保護児童対策地域協議会を书面開催するなど工夫をしながら、関係機関との連携を維持し、児童虐待の予防、早期発見、再発防止に努めていく。			
A	現状維持							
			目標値					
			実績値					
			達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)						

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-4】

1 施策の概要

担当課 ユニバーサルデザイン担当課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備
施策の方向	妊産婦、子育て家庭等、全ての人たちが安全安心に外出できるよう、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを推進していきます。

2 成果指標

指標 1	指標名	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値※1【子ども子育てに関する事業】							
	定義	推進計画、「柱3 便利に生活できる『まちづくり』」のうち、施策3-(1)から3-(4)に位置付けられた一部の事業のうち、「だれもが利用しやすい施設や環境等を整備する」ための個別事業の5段階評価の評価点の平均値							
	単位	点	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			4.0	4.0	4.1			目標値
	実績値		4.1	3.88	4.22				4.2点
達成率			97%	106%	0%				
※1【子ども子育てに関する事業】 3-(1)-①安全な道路環境の整備 3-(1)-②歩行者空間の確保 3-(2)-①公共建築物のユニバーサルデザインの推進 3-(2)-②区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進 3-(2)-③区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進 3-(3)-①区立公園等のユニバーサルデザインの推進 3-(3)-②公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進 3-(4)-①国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導 3-(4)-②民間建築物のユニバーサルデザインの誘導									
指標 3	指標名	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合							
	定義	世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18～40歳代)の割合(そう思う、どちらかといえばそう思うの合計) (算出式) A÷B A:世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18～40歳代)の数 B:世論調査に回答した区民(18～40歳代)の数 ※令和3年度より調査対象が20～40歳代から18～40歳代へ変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			50	50	50			目標値
	実績値		44.3	49.8	51				50%
達成率			100%	102%	0%				

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】ユニバーサルデザイン推進計画の施策については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況下において、施策及び事業の実施そのものが危ぶまれる中、できる範囲で課題解決に向けた工夫や努力をおこなった行為が評価され、目標値を上回る評価点の上昇につながった。

【指標2】令和3年度に整備・改修を行った公園における利用状況調査結果では、「よい公園になったと思う」が83.6%、「これからもこの公園を利用したい」が91.8%という結果を得ており、指標の実績に表れている。

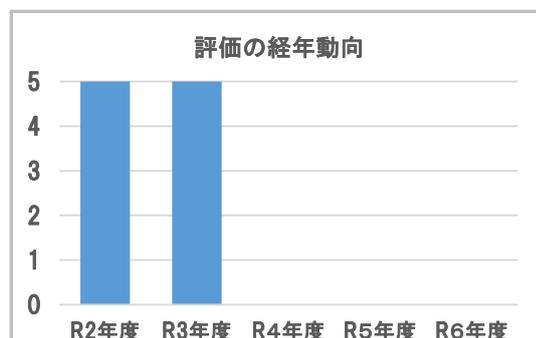
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】子育て世代を含め、すべての人がいきいきと安心して暮らせるまちをめざし、ユニバーサルデザインの視点を持ちながら、区民の生活や生命を守る重要な公共施設の整備を進めていく。

【指標2】公園設計の際の利用者の意向調査において、区HPも活用して調査対象を拡大し、より丁寧に意見聴取しながら公園改修を進める。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価 R3年度	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点に立ち、パークイノベーション推進計画に沿った公園整備・改修を行っていることが、区民の満足度に現れている。 公園は、非常時も含め、区民の命や生活を守る重要な施設である。利用者増のため、区民が欲しいと思う情報を効果的に発信していくことが重要である。 利用者や地域の方の声に丁寧に耳を傾け、全ての人安心して健やかに暮らすことのできる地域社会を実現させてもらいたい。
5	



施策【2-4】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
36	①ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進 【ユニバーサルデザイン担当課】	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点(点)	推進計画、「柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』」のうち、「4-(1)-①ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理」に関する評価点	目標値	4.0	4.0	4.0		4.5
				実績値	4.0	5.0			
				達成率	100%	125%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) コロナ禍においても、動画配信を活用したユニバーサルデザインの普及啓発活動など、様々な工夫をしながら事務事業を進めており、それが評価上昇に繋がっている。今後も関係所管と協力し、それぞれの事業についてコロナ禍を踏まえたニーズに応えるなど方法を模索し、スパイラルアップを実現していく。							
A	現状維持								
37	②公園等遊具の安全対策 【東西道路公園維持課】	全遊具の日常点検遊具数(基)	月1回遊具点検表に基づき点検し、修繕の要・不要・経過観察の判定がなされる遊具数(点検の際に簡単なメンテナンスにより安全使用が可能となる) ※令和4年度からカウントの仕方を変更	目標値	2,108	2,106	2,415		2,115
				実績値	2,108	2,106			
				達成率	100%	100%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 公園維持管理作業委託による施設点検と専門業者による遊具点検で、安全性を損なうE判定が1箇所あったが早急に対応した。令和3年度は遊具の一部劣化箇所を利用者が軽傷を負った事故が1件あったので一時使用中止にして補修した。今後も安全な遊具の維持管理に努めていく。							
A	現状維持								
38	③パークイノベーションの取り組みの推進 【パークイノベーション担当課】	改修・新設した公園数(か所)	足立区パークイノベーション推進計画に基づき、改修・新設した公園数	目標値	48	59	69		88
				実績値	51	54			
				達成率	106%	92%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) ボール遊びコーナーのある公園や幼児が安心して遊べる広場など、それぞれの公園にテーマを設け、公園整備を行った。一部、改修時期の見直しを行った結果、目標達成には至らなかった。							
A	現状維持								
39	④あだち子育てガイドブックの普及 【子ども政策課】	あだち子育てガイドブックの配布場所数(か所)	あだち子育てガイドブックを配布する場所(子育てに関連する機関や施設の窓口等)の箇所数 《【 】内は配布冊数》	目標値	53	58	70		73
					[22,600]	[23,700]	[25,300]		[30,000]
				実績値	53	69			
		[22,600]	[22,700]						
	達成率	100%	119%	0%	0%				
	区ホームページのあだち子育てガイドブックアクセス数(回)	区ホームページのあだち子育てガイドブックへのアクセス数	目標値	3,700	3,800	3,900		4,000	
実績値			3,713	3,953					
達成率			100%	104%	0%	0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) 令和2年度から民間企業等に協力を依頼し、配布窓口を拡大している。誰もが使いやすい紙面を心がけ、動画や詳細はQRコードから案内している。また電子ブック版の普及に努め、多言語対応や読み上げ機能の活用をPRする。令和4年度はホームページ上でアンケートを開始、読者のニーズを確認し今後の紙面づくりに繋げていく。							
A	現状維持								
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)							
				目標値					
				実績値					
				達成率					
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)							

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

子ども・子育て支援法に定める
「確保方策」の進捗状況について

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

教育・保育
【教育】

単位:人

		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
		1号	2号								
計画	量の見込み	5,542	2,005	5,408	1,963	5,265	1,908	5,121	1,859	4,979	1,807
	確保方策	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955
実績	確保方策	8,871	2,207	9,077	1,681	0	0	0	0	0	0
	【参考】利用実績	5,713	2,176	5,805	1,611	0	0	0	0	0	0
達成率		100%	113%	102%	86%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【保育】

単位:人

		R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度			
		2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳													
千住地域	計画	量の見込み	1,185	826	129	1,156	791	127	1,102	768	126	1,060	762	125	1,029	755	124
		確保方策	1,255	842	233	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239
	実績	確保方策	1,255	859	220	1,255	838	227	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	994	688	148	961	654	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	102%	94%	100%	98%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	1,514	1,097	242	1,479	1,071	234	1,445	1,040	232	1,413	1,019	225	1,375	1,003	220
		確保方策	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310
	実績	確保方策	1,794	1,159	309	1,780	1,160	302	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,428	1,088	210	1,423	1,046	226	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	99%	100%	100%	99%	100%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,354	962	209	1,324	938	204	1,294	911	199	1,260	891	197	1,228	876	194
		確保方策	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301
	実績	確保方策	1,640	1,106	287	1,640	1,091	285	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,421	1,012	228	1,398	973	199	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	100%	99%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,758	1,285	273	1,713	1,249	264	1,673	1,211	259	1,628	1,179	254	1,581	1,158	250
		確保方策	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352
	実績	確保方策	2,128	1,448	325	2,098	1,426	340	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,793	1,287	214	1,868	1,285	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	97%	92%	98%	96%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,568	1,131	205	1,541	1,101	198	1,498	1,066	196	1,457	1,042	190	1,413	1,024	188
		確保方策	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287
	実績	確保方策	1,944	1,269	282	1,946	1,249	282	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,573	1,121	229	1,630	1,164	213	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	102%	98%	100%	100%	98%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	247	203	29	231	199	28	224	196	28	219	192	28	214	190	27
		確保方策	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57
	実績	確保方策	304	206	44	274	192	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	254	184	33	229	187	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	99%	95%	77%	89%	89%	77%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	7,626	5,504	1,087	7,445	5,349	1,055	7,236	5,192	1,040	7,037	5,084	1,019	6,839	5,005	1,003
		確保方策	9,095	6,056	1,540	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546
	実績	確保方策	9,065	6,047	1,467	8,993	5,956	1,480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	7,463	5,380	1,062	7,509	5,309	1,056	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	99%	98%	96%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

地域子ども・子育て支援事業

【放課後児童健全育成事業(学童保育室)】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
千住地域	計画	量の見込み	889	912	930	928	913
		確保方策	889	912	930	928	913
	実績	確保方策	889	912	0	0	0
		【参考】利用実績	681	782	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	748	746	740	730	714
		確保方策	909	939	989	989	989
	実績	確保方策	909	939	0	0	0
		【参考】利用実績	1,120	1,287	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
		確保方策	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
	実績	確保方策	1,081	1,080	0	0	0
		【参考】利用実績	976	1,060	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
		確保方策	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
	実績	確保方策	1,708	1,681	0	0	0
		【参考】利用実績	1,624	1,803	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,150	1,139	1,120	1,107	1,092
		確保方策	1,150	1,139	1,120	1,146	1,176
	実績	確保方策	1,150	1,139	0	0	0
		【参考】利用実績	1,244	1,355	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	263	235	211	190	176
		確保方策	346	346	346	346	346
	実績	確保方策	346	346	0	0	0
		【参考】利用実績	292	262	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	5,839	5,793	5,698	5,599	5,481
		確保方策	6,083	6,097	6,082	6,053	6,010
	実績	確保方策	6,083	6,097	0	0	0
		【参考】利用実績	5,937	6,549	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【子育てサロン事業】

単位：人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
千住地域	計画	量の見込み	62,939	60,990	59,612	59,040	58,570
		確保方策	64,834	64,834	64,834	64,834	64,834
	実績	確保方策	64,834	64,834	0	0	0
		【参考】利用実績	24,472	22,826	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	55,042	53,492	52,364	51,175	50,257
		確保方策	61,234	61,234	61,234	61,234	61,234
	実績	確保方策	61,234	61,234	0	0	0
		【参考】利用実績	17,636	17,108	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	46,141	44,909	43,756	42,873	42,201
		確保方策	76,700	76,700	76,700	76,700	76,700
	実績	確保方策	76,700	76,700	0	0	0
		【参考】利用実績	11,767	12,370	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	66,683	64,640	62,919	61,430	60,372
		確保方策	164,128	164,128	164,128	164,128	164,128
	実績	確保方策	164,128	164,128	0	0	0
		【参考】利用実績	38,441	44,282	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	41,412	40,114	39,179	38,206	37,596
		確保方策	73,367	73,367	73,367	79,749	79,749
	実績	確保方策	73,367	73,367	0	0	0
		【参考】利用実績	10,862	12,639	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	13,546	13,243	13,032	12,851	12,762
		確保方策	28,794	28,794	28,794	28,794	28,794
	実績	確保方策	28,794	28,794	0	0	0
		【参考】利用実績	5,909	6,293	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	285,763	277,388	270,862	265,575	261,758
		確保方策	469,057	469,057	469,057	475,439	475,439
	実績	確保方策	469,057	469,057	0	0	0
		【参考】利用実績	109,087	115,518	0	0	0
		達成率	100%	100%	0%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【平日の定期的な延長保育事業】

単位：人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	千住地域(21時まで)	485	472	455	444	436
	綾瀬・佐野地域(21時まで)	616	601	589	576	562
	梅田・中央本町地域(21時まで)	617	602	587	574	561
	竹の塚・六町地域(21時まで)	557	543	529	516	504
	江北・鹿浜・舎人地域(21時まで)	489	476	463	453	442
	新田地域(21時まで)	117	110	109	107	104
	21時以降区全域	386	374	365	355	346
	量の見込み【区全域】	3,267	3,178	3,097	3,025	2,955
	千住地域	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,802	2,802	2,802	2,802
	梅田・中央本町地域	2,552	2,552	2,552	2,552	2,552
	竹の塚・六町地域	2,916	2,916	2,916	2,916	2,916
	江北・鹿浜・舎人地域	2,890	2,890	2,890	2,890	2,890
	新田地域	449	449	449	449	449
	確保方策【区全域】	13,682	13,682	13,682	13,682	13,682
	実績	千住地域	2,073	2,028		
綾瀬・佐野地域		2,802	2,778			
梅田・中央本町地域		2,552	2,542			
竹の塚・六町地域		2,931	2,848			
江北・鹿浜・舎人地域		2,886	2,854			
新田地域		449	439			
確保方策【区全域】		13,693	13,489	0	0	0
千住地域		400	508	0	0	0
綾瀬・佐野地域		640	704	0	0	0
梅田・中央本町地域		590	630	0	0	0
竹の塚・六町地域		819	787	0	0	0
江北・鹿浜・舎人地域		693	770	0	0	0
新田地域		164	162	0	0	0
【参考】利用実績【区全域】	3,306	3,561	0	0	0	
達成率	100%	99%	0%	0%	0%	

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【【幼稚園在園児】一時預かり等の利用】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	381,536	372,694	362,878	353,066	343,071
	確保方策	491,953	491,953	491,953	491,953	491,953
実績	確保方策	456,895	361,853	0	0	0
	【参考】利用実績	352,811	300,221	0	0	0
達成率		93%	74%	0%	0%	0%

【【幼稚園在園児を除く】不定期の一時預かり等の利用】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	29,841	28,956	28,269	27,619	27,156
	確保方策	53,142	50,421	47,438	44,679	42,730
実績	確保方策	42,654	41,266	0	0	0
	【参考】利用実績	20,025	22,226	0	0	0
達成率		80%	82%	0%	0%	0%

【こどもショートステイ事業(在宅型・施設型)】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,933	2,858	2,790	2,725	2,664
	確保方策	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
実績	確保方策	2,928	2,928	0	0	0
	【参考】利用実績	1,903	2,219	0	0	0
達成率		100%	100%	0%	0%	0%

【ファミリー・サポート・センター事業／子ども預かり・送迎支援事業(小学生)】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	7,830	7,124	6,505	5,963	5,485
	確保方策	20,697	18,984	17,467	16,077	14,817
実績	確保方策	15,434	13,354	0	0	0
	【参考】利用実績	5,843	7,878	0	0	0
達成率		75%	70%	0%	0%	0%

【病気の際の対応】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,859	2,783	2,713	2,647	2,590
	確保方策	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
実績	確保方策	2,946	3,262	0	0	0
	【参考】利用実績	141	326	0	0	0
達成率		90%	100%	0%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業】

(ア) 養育支援訪問事業

単位: 人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	842	898	959	1029	1091
	確保方策	○引き続き、「預かり・送迎支援」及び「育児・家事支援」の訪問事業を、NPO法人への委託により支援の量を確保し、支援が必要な家庭に対する相談・支援を進めていきます。				
実績	【参考】利用実績	421	1,033	0	0	0

(イ) 要保護児童対策地域協議会の開催

(ウ) 児童虐待予防講座等の実施

単位: 回

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	要保護児童対策地域協議会の開催	271	290	310	332	355
	児童虐待予防講座等の実施	13	13	13	13	13
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	275	268	0	0	0

【乳児家庭全戸訪問事業】

単位: 人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	4,300	4,100	4,100	4,000	3,900
	確保方策	○実施体制: 委託訪問指導員・保健師が自宅訪問 ○案内: 訪問連絡票を母子健康手帳に綴じ込み、チラシと一緒に配布しています。訪問連絡票未提出者には電話や通知で勧奨を行い、今後も引き続き、訪問率向上に努めていきます。				
実績	【参考】利用実績	3,558	3,626	0	0	0

【妊婦に対して健康診査を実施する事業】

単位: 人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	66,900	64,800	64,000	62,700	61,800
	確保方策	○実施場所: 都内委託医療機関、里帰り等助成(都外医療機関・助産所) ○検査項目・実施回数: 妊婦健診全14回/超音波検査2回/子宮頸がん検診1回 ○案内: 妊娠届出及び妊婦訪問時に妊婦健診の受診勧奨を、今後も引き続き実施していきます。				
実績	【参考】利用実績	53,219	51,935	0	0	0

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【利用者支援に関する事業】

単位:か所

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	基本型・特定型	1	1	1	1	1
	母子保健型	6	6	6	6	6
	確保方策	<p>○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。</p> <p>○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。</p> <p>○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。</p> <p>○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。</p>				
実績	【参考】利用実績	7	7	0	0	0

【実費徴収に係る補足給付を行う事業】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,129	1,102	1,073	1,043	1,014
	確保方策	<p>○幼稚園等に在園する児童の保護者が、園に対して支払うべき給食費・教材費等の実費の一部について、低所得世帯・多子世帯を対象として補助します。</p>				
実績	【参考】利用実績	1,319	1,310	0	0	0